

マグネシウム鋳造金型洗浄剤

マグセン T3

DaiChem

製造元

株式会社ダイケミ

東京都墨田区立川2-1-20

TEL 03-5638-7646

マグセン T 3 は、金型やピン給湯ポンプ・チクソモールディングシリンダーやスクリーに付着したマグネシウムの溶着を除去する洗浄剤です。

マグネシウムは酸でないと溶解反応を示さないため、従来は金型への影響を気にしながらも希塩酸・希硫酸等で短時間での処理をしていました。そのため、金型を傷めながらも完全な洗浄をするのが困難でした。

マグセン T 3 は、数種の酸を非常にシビアな配合で製造することにより、PH 0 以下の強酸性でありながらも**マグネシウムには強力な溶解性を持ちながら型への影響を極限まで抑制致します。**

マグセン T 3 は、強酸性のため腐食性物質ではありますが、**毒劇物取締法には抵触せず普通物として取扱う事が出来ます。**

T 3 は姉妹品の T 2 に対して 5 ~ 1 0 倍の速度でマグネシウムを溶解すると共に溶解力も倍に増加しました。

非常に強力な酸ですので、マイルドなタイプをご希望の場合はマグセン T 2 をご使用下さい。

材質によっては影響の出ることがありますので事前にご試験して下さい。

長時間の洗浄は型への影響が出る可能性がありますので試験の上ご使用ください。型への影響度は温度×時間で上昇します。

< 溶解洗浄方法 >

- 1 . 金型・ピン等をマグセン T 3 に完全に浸漬して下さい。
液面から顔を出すと水蒸気による酸化がおきることがありますのでご注意ください。
- 2 . 初期は反応が強く反応の泡が大量に発生しますので溢れにご注意下さい。
- 3 . 反応が終われば洗浄終了です。
- 4 . マグセン NT で成分の分解及び防錆を必ずして下さい。

< 取扱い及び保管場所の注意 >

強酸性ですので、耐薬品用の手袋・眼鏡・マスクを着用して下さい。

吸い込んだり、目、皮膚及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用して下さい。

アルカリ性剤との接触を避けて下さい。

保管場所は、直射日光に触れない冷暗所に密閉して保管して下さい。

その他、MSDS をご参照下さい。

荷姿	マグセン	T 3	1 8 K g 入り	ポリ缶
	マグセン	NT	1 8 K g 入り	鉄缶

マグセン T 3 使用マニュアル

- 使用方法 : 1 . マグセン T 3 を液槽に溜める。
2 . 洗浄物を完全に浸漬させる。
3 . マグネシウムとの反応による水素ガスが発生するので、反応の泡が出なくなれば洗浄完了です。
4 . 水で洗浄剤を出来るだけ除去する。(エアー等を使用する場合は必ず保護眼鏡・保護手袋を着用し、皮膚に触れたり目に入らないように十分注意すること)
5 . マグセン NT に浸漬させて (約 1 ~ 3 分程度) から出来るだけ液を切り終了です。

NT は PH が 8 以下になったら交換して下さい。

T 3 は、PH が 1 以上になったら新液交換の時期です。

補充した場合、ある程度効果は戻りますが、完全には戻らないため新液への交換をお勧めします。

- 特 記 : 反応を早めたい時は加温して下さい。但し温度 × 時間で腐食が促進されますのでご試験の上ご使用下さい。
弊社試験データ : 6 0 × 2 時間では腐食なし (S K D 6 1)

必要設置薬品 : 液漏れ時対応薬品 炭酸ソーダ (NaCO_2) ・ PH 計測器
(マグセン新液 1 L に対して炭酸ソーダ 1 1 0 g で中和する。中和されるまで炭酸ガスの泡が発生するので徐々に添加すること。出来れば消泡剤を添加すると良い。)

必要保護具 : 保護眼鏡・保護手袋・保護マスク

- 廃 棄 : 排水設備に排水する場合は、中和した上で排水して下さい。
産廃業者に委託する場合は、MSDS 等で薬品の情報を正確に伝えて下さい。

マグセンT3 / 5%塩酸 比較試験データ

	5%塩酸		マグセンT3	
	初期	終期	初期	終期
温度(反応熱で上昇)	8	25	8	29
PH値	0.55	3.90	- 0.37	1.15
Mg溶解量(g)		4.50		24.00
SKD61腐食性 重量% / 24H		0.203%		0.000%

5%塩酸・マグセンT3 共に1Lに対して

終期は作業性上の終期であり完全な最終ではありません。